

年度 市民税 県民税 申告書

★本人に関する事項



(宛先) 周南市長

令和 年 月 日提出

住所、氏名、電話番号、個人番号、生年月日 (明・大・昭 平・令) 年 月 日

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険料控除 (A-F)、生命保険料控除 (新/旧)、地震保険料控除、寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除、障害者控除、配偶者(特別)控除、扶養親族該当欄、雑損控除、医療費控除

1 収入金額等 (事業、不動産、利配給、雑、総合譲渡) 2 所得金額 (事業、不動産、利配給、雑、合計)

(※) 同一生計配偶者及び16歳未満の扶養親族は扶養控除対象外ですが、市・県民税の課税の計算には使用しますので、必ず記入してください。

○扶養親族等が別居の場合 (氏名、住所)

4 給与及び公的年金等に係る所得以外の 市民税・県民税の納税方法

□ 給与から差引き(特別徴収) □ 自分で納付(普通徴収)

職員記入欄

番号確認、本人確認、マイナンバーカード、通知カード・住民票、運転免許証・保険証・プレ・障害者手帳、代理権、委任状・税務代理権限証書、送付、入力済、資料、あり・なし、チェック済

○ 事業所得に関する事項

科目	金額
収入金額	
売上(収入)金額①	
家事消費②	
その他の収入③	
計(①+②+③)④	
必要経費	
売上原価イ	
減価償却費ロ	
租税公課ハ	
光熱費ニ	
旅費交通費・通信費ホ	
接待交際費ヘ	
修繕費ト	
消耗品費チ	
種苗費リ	
肥料費ヌ	
農業衛生費ル	
	ヲ
	フ
経費計(イ～ワの計)⑤	
差引金額(④-⑤)⑥	
専従者控除⑦	
青色申告特別控除⑧	
所得金額(⑥-⑦-⑧)⑨	

○ 不動産所得に関する事項

科目	金額
収入金額	
地代・家賃①	
敷金・礼金・更新料②	
その他の収入③	
計(①+②+③)④	
必要経費	
給料・賃金イ	
減価償却費ロ	
地代・家賃ハ	
固定資産税ニ	
損害保険料ホ	
修繕費ヘ	
	ト
経費計(イ～トの計)⑤	
差引金額(④-⑤)⑥	
専従者控除⑦	
青色申告特別控除⑧	
所得金額(⑥-⑦-⑧)⑨	

○ 月別給与収入の金額

月	収入金額	月	収入金額
1		7	
2		8	
3		9	
4		10	
5		11	
6		12	
合計			
勤務先			
所在地			
電話番号			

※ 源泉徴収票のない方のみ記入してください。

○ 専従者控除に関する事項

氏名	続柄	生年月日	個人番号	従事月数	専従者控除額
アガナ		明・大 昭・平			
アガナ		明・大 昭・平			
合計					

○ 寄附金に関する事項

「都道府県、市区町村分」、「住所の共同募金会、日赤、都道府県・市区町村分(特例控除対象以外)」の各欄には、当該団体に寄附した金額を記入してください。「条例指定分」欄には、山口県(周南市)の条例で指定された寄附金を支出した場合に記入してください。
※「周南市条例指定分」の控除対象の範囲は、「山口県条例指定分」と同一です。

都道府県・市区町村分 (特例控除対象)	
住所の共同募金会、日赤、都道府県・ 市区町村分(特例控除対象以外)	
条例指定分	山口県 周南市

○ 給与・雑所得(公的年金等以外)に関する事項

所得の種類	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費(雑のみ)	所得(雑のみ)
給与・他雑(業務・その他)				
給与・他雑(業務・その他)				
給与・他雑(業務・その他)				
(内部処理欄)その他の雑所得の合計				

○ 譲渡・一時所得に関する事項

	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除	所得金額
総合					イ
譲渡					ロ
一時					ハ
合計 イ+[(ロ+ハ)×1/2]					ニ

右上のイの金額を表面のロに、ロの金額を表面のサに、ハの金額を表面のシに記入してください。
右のニの金額を表面の所得金額欄⑩に記入してください。

○ 配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除に関する事項

特定配当等に係る所得金額、特定株式等譲渡所得金額を総所得金額に含め、配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除を受けようとする場合は、下の各欄に記入してください。

配当割控除額	
株式等譲渡所得割控除額	

○ 事業税に関する事項

非課税所得など	番号	所得金額
損益通算の特例適用 前の不動産所得		
事業用資産の 譲渡損失など	資産の種類	損失額・被災損失額(白)
前年中の 開(廃)業	開始・廃止 月 日	<input type="checkbox"/> 他都道府県の 事業所等

○ 所得金額調整控除に関する事項

アガナ			生年月日	明・大・昭 平・令	特別障害者に 該当する場合	級 度	別居の場合 の住所
氏名		続柄					
個人 番号							

★ 所得のなかった方の記入する欄

1. 次の者の扶養を受けていた。

扶養者氏名 _____ 続柄 _____ 居所・住所 _____

住 所 _____

2. 学生であった。

学 校 名 _____ 学 年 _____ 年 生 _____

3. 次のものを受給または扶助を受けていた(該当するものに✓)。

遺族年金 障害年金 雇用保険 生活保護法による生活扶助

4. 本年1月1日現在、周南市に居住していなかった。

5. 貯蓄で生活していた。

6. その他 _____